

(関係部門へご回覧ください)

金融機関のガバナンス改革

～変わる独立取締役、監査役の役割と態勢整備のポイント～

会社法の改正、コーポレート・ガバナンス・コードの適用を受けて、わが国のガバナンス改革は急速に進み始めました。その背景には、日本企業のパフォーマンスの停滞、不祥事の多発や、金融危機後の国際的なガバナンス強化の潮流があります。

独立取締役の選任が進み、その役割が重要性を増すと同時に、日本独自の監査役のあり方についても、大きく見直しを迫られています。また、取締役会、監査役会の監督・監査機能を支えるため、取締役会、リスク管理機能、監査機能それぞれの改革に取り組む必要があります。

本セミナーは、取締役、監査役のほか、彼らをサポートするガバナンス事務局、監査役室、企画部門、リスク管理部門、内部監査部門等の部門長、シニアな管理者を主な対象にして、ガバナンス改革の方向性を改めて整理し、態勢整備のポイントを分かりやすく解説します。

開催日：2018年9月19日（水）0.5日間

会場：ニッキンホール（東京・市ヶ谷）

講師：（敬称略）

FFR+代表 碓井 茂樹（日本銀行金融高度化センター）

（注）FFR+は「金融工学とリスクマネジメント高度化」研究会

（Forum of Financial technology and Risk management）の略称

主催：C M C

Computer Based Management College

<https://www.nikkin.co.jp/cmc.html>

※上記サイトからWebでの申し込みが出来ます

後援：一般社団法人 全国地方銀行協会
一般社団法人 第二地方銀行協会
一般社団法人 全国信用金庫協会
一般社団法人 全国信用組合中央協会

金融機関のガバナンス改革

カリキュラム

13:30~16:30 (13:00受付開始)

1. はじめに

- ・攻めも守りも弱い日本型ガバナンス
- ・グローバル・スタンダードとの乖離
- ・目指すべきグローバル・スタンダード

2. 我が国のガバナンス改革のはじまり

- ・マネジメント・ボードからモニタリングボードへ
- ・重要性を増す独立取締役による監督強化
- ・大きく変わった監査役の役割、将来像

3. 取締役会、監査役会を支える態勢整備のポイント

- ・取締役会のサイズ、構成、運営
- ・経営監督の枠組み
 - リスクアペタイト・フレームワークの構築
- ・リスク管理機能の独立性の強化
 - ダイレクトアクセス、チャレンジ
- ・「3線」モデルの構築と経営監査の実践
 - 指揮命令系統（レポーティング・ライン）の見直し
 - 準拠性監査の1・2線への移管
 - 内部監査の専門職の養成
 - 経営目線での監査の実施

4. 実践事例の紹介

- ・我が国の金融機関のガバナンス改革を中心に

FAX 03-3261-4570 CMC事務局まで

49

第28回 金融機関 経営管理セミナー
「金融機関のガバナンス改革」

ホームページ用受講申込書
2018年9月19日(水)開講

貴社名

所在地 (〒 -)

連絡責任者

TEL

部署・役職

FAX

	参加者氏名	所属(部・課・グループ)	役職

☆お申し込みいただきました方には、受講証・請求書・会場地図を郵送いたします。

受講料 A: 29,160円(本体価格 27,000円) <CMC会員価格>
B: 31,320円(本体価格 29,000円) <後援協会会員価格>
C: 33,480円(本体価格 31,000円) <一般価格>

お問い合わせは、(2日間とも昼食はこちらで用意いたします)

CMC TEL 03-3261-4550 FAX 03-3261-4570 まで。

注:(振込先銀行) みずほ銀行 市ヶ谷支店 普通預金 1797042

(名義) 株式会社 CMC

振込予定日(できるだけご記入ください) 月 日

受講についてのお願い

- ①受講料は、セミナー開催日までにお振込みください。
- ②銀行振込の場合は領収書を発行いたしません。
- ③銀行振込に際しては、可能であれば貴社名の前に請求書番号の下3桁(枝番数字)を付記してください。
振込手数料は貴社でご負担をお願い申し上げます。
- ④開催日前、一週間以内のキャンセルはできません。
- ⑤講演中は、録音・撮影ならびに携帯電話・パソコンの利用はご遠慮ください。
- ⑥諸般の事情により開催を中止させていただく場合がございます。
- ⑦ホームページに提携ホテル一覧がございます。特別割引もございますので是非ご利用ください。